

事業名 こどもの日常を支える居場所づくり事業

特定非営利活動法人ゆるり家

① 事業の目指すところ

駄菓子やを入り口とした居場所「放課後あそび場 おきらくだがしかし…」と、子どもたちが自由に遊べる野外のあそび場「冒険あそび場 ゆるぱ」を定期開催し、こどもの日常を支える居場所として、場を開き続ける事を目指した。どちらも保護者による登録や事前申し込みは必要とせず、保護者に送迎してもらわなくても、子どもたちが自分の意志で来ることができる居場所とする。開催曜日・開催場所を増やし、より小学校に近い場所での居場所づくりにチャレンジする。

② 活動内容(回数・人数は2024年12月末までの実績)

(1)放課後あそび場 おきらくだがしかし…

毎週水曜日放課後 ゆるり家 第2・第4月曜日放課後 つどいの館(まちづくり天満)

毎月第2水曜日(8月以外) フードパントリー「どうぞのはこ」&おにぎりの日 同時開催

おにぎり・お味噌汁、食料品、お菓子などの提供。おにぎりは子どもたち自身がつくって食べる。お味噌汁はスタッフと子どもたちが一緒につくる。駄菓子やに遊びに来たついでにフードパントリーを利用することで、生活困窮の子やヤングケアラーの子も、自然な形で食料を持って帰ることが可能となっている。

(2)冒険あそび場ゆるぱ 月1回 稲美中央公園

幼児や小学生の参加者を中心に、禁止事項をできるだけなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ということを基本に何でも自由な遊びができる「冒険あそび場(プレーパーク)」を開催する。学校に行きにくい子たちにも参加を呼び掛け、屋外で遊ぶ機会が減少しがちな親子に野外での活動の場を提供する。

活動名	開催回数	参加人数(大人)	参加人数(子ども)
放課後あそび場 おきらくだがしかし…	43回	125人	942人
冒険あそび場 ゆるぱ	6回	81人	99人



③ 事業の成果と課題、今後の展望

「放課後あそび場 おきらくだがしかし…」は、放課後の短い間にもかかわらず、たくさん子どもたちが訪れ、思い思いの過ごし方をしている。今年度は、新たに小学校のすぐ横のつどいの館でも開催し、拠点外での居場所づくりの実績をつくることができた。その一方で、新しい場所は隔週での開催だったため、子どもたちへの定着がなかなかできていない。来年度は、つどいの館で毎週月曜日に開催し、加えて、他地域でも公会堂や集会所を使つての居場所づくりにも活動を広げていきたいと考えている。

「冒険あそび場 ゆるぱ」は、平日開催時は参加人数が少ないものの、適応指導教室の子や近隣のフリースクールの子たちも遊びに来てくれた。しかし、平日活動できるスタッフが少なく、運営側の負担も大きかったため、今後は、土日の開催を中心に、他団体との合同開催など、スタッフの負担を軽減して続けられる仕組みづくりをしていきたい。